第57回北海道建設業労働災害防止大会 市長祝辞

建設業労働災害防止協会北海道支部の会員の皆様におかれましては、日ごろより、安全・安心で快適な市民生活を支えていただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

今般の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、公共事業については、社会の安定維持の観点から、感染症対策にご協力をいただきながら、事業を継続しているところです。

現場における感染症対策には、様々な難しい点もあるかと思いますが、社会基盤の整備・維持を始めとする建設事業を引き続き担っていただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、このたびの北海道建設業労働災害防止大会において、表彰を受けられる皆様方には、日々の労働災害防止活動へのご功績に対し、心より敬意を表しますとともに、お祝い申し上げます。

近年、全国各地で多発する地震や豪雨といった災害発生時の復旧作業や、都市の強靭化に向けた取組の推進、また、冬期間における除排雪作業など、市民の生命やライフラインを守るためには、皆様方のお力添えを欠かすことができません。

一方で、建設業は、他の産業と比較して労働災害の発生件数が多く、重大な事故につながりやすいといった側面を持っております。

そのような中で、皆様が労働災害防止を目指して、日ごろから取り組まれている様々な活動は、ご自身や現場の大切な仲間を守るためのものであり、今回の大会を契機として、より一層、安全に働くことができる環境づくりが進むことを心より願っております。

札幌市では、建設産業の将来にわたる持続可能な体制確保に向け、昨年５月に「さっぽろ建設産業活性化プラン」を策定し、担い手確保や働き方改革等に資する様々な取組を、業界の方々と共に進めているところです。

魅力ある建設業界を目指し、共に取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともお力添えの程よろしくお願いいたします。

最後になりますが、建設業労働災害防止協会北海道支部の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝・ご活躍を心よりご祈念申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。

令和３年６月２４日　　札幌市長　秋元　克広